

## 1 市の概要

人口	83,534 人
保護率	3.77 %

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	10.0
プラン作成件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	2.2
就労支援対象者数人口10万人当たり (件) 一月当たり	1.2
就労・増収率(%)	75.0

## 4 事業実績（H30年度）

	実利用者数
生活困窮	33人（全て中学生）
生活保護	11人（中学生10人、その他1人）

## 3 実施方法について

<b>実施方法</b>	委託（単年度契約、プロポーザル実施なし）
<b>事業費</b>	3,130千円（平成30年度）
<b>理由 (委託) 又は (直営)</b>	○事業を実施するにあたり、市内で以前から独自で学習支援事業を実施している民間団体があり、関係機関との連携及びボランティアの確保等円滑に行われている実績があることから、当該事業を実施するにあたってのノウハウを生活困窮者向けに活かせると考え、この民間団体へ委託。
<b>事業概要</b>	○実施方法：市内3会場で、拠点型の学習支援を実施。 ○講師：教員経験者、社会人、大学生等のボランティア ○支援内容：国語・数学・英語を基本とし、個別に実施 一部会場では、利用者が希望する教科を教えている ○対象者：生活保護世帯及び生活困窮世帯（就学援助受給世帯、児童扶養手当受給世帯）の中学生 ○実施頻度：毎週土曜日 1回2時間程度
<b>課題・対応</b>	○現在の規模（市内3箇所）は、本市の規模や実情にあったものと考えているが、会場の増設の意見もあり、必要に応じて庁内関係部署との連携も視野に入れた対応を検討する。
<b>その他 特記事項</b>	○利用できる会場は特に指定しておらず、利用者が家庭や自身の事情に合わせ、利用する会場の登録を選択できるようにしている。

## 5 事業実施のポイント

- 学習支援等で手助けが必要な生活困窮世帯の子どもに対し、個別学習支援を行うことにより、対象者が希望する高等学校等へ進学する等、充実した学生生活を実現させ、対象者及び出身世帯の経済的・社会的自立を促すことを目的とし支援を行っている。



- 3会場のうち1会場で、毎月第2・第4土曜日に民間団体が子ども食堂を実施しており、学習会終了後参加できるようPRし、利用しやすい流れを作っている。



## 6 取り組んで良かったこと

- 参加者の個々のニーズに合わせた個別支援を行うことにより、学びやすい環境にすることが、基礎学力の向上につながっている。
- 基礎学力の向上の結果、平成30年度は、中学校3年生の受講生のほとんどが高等学校への進学を果たしている。